

NEJM 勉強会 2009 第 8 回 2009 年 6 月 17 日 A プリント 担当:井上 堯文
(takainoue-tky@umin.ac.jp)

A 24-year-old woman with AIDS and tuberculosis with progressive cough, dyspnea and wasting

(南アフリカの病院のお話です。)

【主訴】進行性の咳嗽、呼吸困難、るいそう

【現病歴】7ヶ月前に他院に進行性咳嗽で受診した際、肺結核と診断。(喀痰培養で抗酸菌(+)
胸部X線写真無し) 結核の既往なし。

DOTSプログラム開始され、イソニアジド、リファンピシン、エタンブトール、ピラジナミド2ヶ月間、イソニアジド、リファンピン4ヶ月のコースが開始。

翌月、HIV抗体(+)が判明。

治療開始から6ヶ月経過後も、咳嗽は持続し、喀痰標本も依然抗酸菌陽性。イソニアジド、リファンピンは続行。

入院のおよそ6週間前より、咳嗽は悪化し、呼吸困難も悪化。また熱発、盗汗、体重減少も伴う。進行性に衰弱し、入院となった。

【既往歴】昨年、4ヶ月間他院に入院していたが、詳細な情報は得られなかった。アレルギーなし。

【薬剤】抗レトロウイルス剤の服用、*Pneumocystis Jirovecii* への予防措置、いずれもなし。イソニアジド、リファンピシンのみ。

【生活歴】独身、子供無し。南アフリカの貧困地域に居住、無職。喫煙なし、飲酒なし。薬物なし。医療機関での職務経験なし、投獄経験なし。ズールー族。

【家族歴】結核感染者なし

【入院時現症】意識清明、知覚正常。るいそう及び呼吸困難あり。体重 51kg 体温 40°C
BP 97/54 脈拍 132/min 呼吸数 30-36/min SpO2 93% (40%O2 吸入下) 粘膜及び結膜蒼白。

両側にラ音聴取、左上肺野に気管支呼吸音聴取、右肺野に喘鳴を聴取(呼気吸気時いずれも)。

心音正常。両側下肢の浮腫あり。

他の身体診察は正常。

【画像検査】胸部Xp: 左肺野に多発性の腔、気腔陰影。左肺の縮小、縦隔のやや左方への偏移。右上肺野での病巣硬化像、左胸膜肥厚、少量の胸水が認められる。

【入院後経過】経静脈的にアモキシシリン、経口でST合剤投与を開始。

イソニアジド、リファンピシンは続行。更にピリドキシリンも追加。

摂食、自力で入浴は可能だが、一日の大半をベッド上で過ごしている。発熱、咳嗽は持続している。喀痰検査では抗酸菌陽性。

入院8日目、隔離病棟へ移動。アモキシシリンは中止され、セフトリアキソン（第三世代セフェム系）とゲンタマイシン静注開始。

2週間にわたり、患者の症状は悪化し、また右肩および頸部に放散する胸痛も伴ってきた。体温は最大で40℃に上る変動を示し、呼吸困難は増悪、そして衰弱を認めた。このときの検査値は table1 に示す。（と言っても見づらいので要約すると、低アルブミン血症で、CRP高値、BUNがやたら高いのが気になる（クレアチニンはそこそこ）、少々貧血傾向もあり）

口腔カンジダ症が進行。セフトリアキソン中止、フルコナゾール経口投与開始。

入院19日目、左下肢が腫れ上がり浮腫が目立った。エノキサパリンが投与され、非侵襲的な下肢静脈の検査が予定されていた。

しかしその翌朝、患者は錯乱状態に陥った。そして同日、呼吸困難は悪化し、患者は不幸な転帰をとった。

3ヶ月後、ある診断的検査の結果が届いた。



Table 1. Results of Laboratory Tests.*		
Variable	Reference Range†	15th Hospital Day
Hematocrit (%)	37–52	20.8
Hemoglobin (g/dl)	12–18	7.2
White cells (per mm ³)	5200–12,400	7150
Differential count (%)		
Neutrophils	40–74	77
Lymphocytes	19–48	19
Monocytes	3–9	2
Eosinophils	0–7	1
Basophils	0–2	1
Platelets (per mm ³)	130,000–400,000	99,000
Mean corpuscular volume (μm ³)	80–99	84.7
Sodium (mmol/liter)	135–148	130
Potassium (mmol/liter)	3.6–5.3	3.5
Chloride (mmol/liter)	95–105	108
Carbon dioxide (mmol/liter)	23.0–31.9	17
Urea nitrogen (mg/dl)	8.4–18.2	43.1
Creatinine (mg/dl)	0.68–1.36	1.71
Total bilirubin (mg/dl)	0.18–1.00	0.6
Protein (g/dl)		
Total	6.0–8.0	7.2
Albumin	3.2–5.0	1.4
γ-Glutamyltransferase (IU/liter)	10–60	71
Alkaline phosphatase (IU/liter)	42–121	125
Aspartate aminotransferase (IU/liter)	10–40	59
Alanine aminotransferase (IU/liter)	10–45	16
Lactate dehydrogenase (IU/liter)	266–500	1101
C-reactive protein (mg/liter)	<8	125

- プロブレムリストは？
- 鑑別診断は？各プロブレムに対する対処は適切だったか？（あるいは上記の病院の対処（投薬）は何を念頭において行われたものだろうか？）
- なぜ極めて残念な結果となったのか、この結果は避けられたのか？（もしそうならどう

すれば?)